# 中国仏教発祥地を通り長安へ

# 龍門石窟

の寺院)の盧舎那大仏で、像の高さは17メートルにおよぶ。 る。写真は、龍門石窟の代表作ともいわれる奉先寺(石窟のなか 洛陽の南部に位置する中国3大石窟の1つ(世界遺産)。南北約 1キロのなかに、約2000の石窟がある。仏像は約10万体にのぼ







### 空海一行は、いよいよ 中国仏教発祥の地・洛陽を経て、 古都長安へと道を進む。

# 開封から長安(西安へ)

# 密教相承者たちとの出会い

像に難くない。 ŋ 教発祥の地・ ら道を西に進む。 の伝説が残る大相国寺を経て、 の古刹で、 大師像が建っている。 よいよ開封からは陸路となる。 杭州から開封までは古運河を通 空海もここに立ち寄ったことは想 空海が留学時に滞在 洛陽に着く。 現在、 鄭州を経て、 白馬寺にも修行 洛陽には後 中国 ひたす したと 開封 ŋ

剛智との関係が重要である。の相承者であるインド僧・幸 洛陽は、 空海というよりむしろ密教 善無畏、

に入り、 て日本に持ち帰られた。 した。これは大安寺の僧 善無畏は開元4年 『虚空蔵求聞持法』  $\overbrace{\begin{array}{c}7\\1\\6\end{array}}$ さらに開元12 道慈によっ 巻を翻 に長安

年 (724) に洛陽に入り、

『大日経』の翻訳をする。この2つの

善無畏は洛陽で入滅し、龍門の西山・

が空海に与えた影響は非常に大き

大福先寺で 経典 広る ※本記事は「高野山大学選書 第5巻 現代に生きる空海」(小学館スクウェア)の「現代中国に甦る空海」著/静慈園をもとに構成しています。 ※(★)印がついている写真は、静慈園氏が団長を務めた「空海ロード巡礼」にて撮影されたものです。写真は巡礼 地の一部を紹介したもので、これがすべてではありません。



756年に中国真言宗第六祖の不空が住職となり、灌頂 道場を開いた寺院。以降、中国密教の中心寺院となり、 日本の円仁、円珍らも修行した(★)。



再建された青龍寺(恵果空海紀念堂)。青龍寺は空海が 恵果和尚から灌頂を受けた場所で、今から約30年ほど 前に再建された。



|海記念碑

に伝わるバ

ラモンの宗教、

すなわちイ

その後、

空海は同年5

ンド哲学を学んでいる。

ンスク

ツ

ト語および南インド

青龍寺に建てられた空海記念碑。空海が約1年過ごし た青龍寺は、四国八十八ヶ所の番外札所、「零番札所」 になっている。

果和尚を青龍寺に訪ね、月末から6月初めに恵 元和元年である。 だが4月には越州 を離れたのは8月と考え の紹興)にきている。 月に、空海は長安にいた。 密教の灌頂 られてい  $\widehat{\overset{8}{0}}$ を受ける 6 (現在 0)

#### 涅槃像

白馬寺の境内にある涅槃像。白馬寺は創建された当時から位 置は変わっていないが、現存する建築の多くは明清代に再建 された(★)。





われた(★)。 は値がら見下ろした函谷関。写真上部に見える建造物が、山道から見下ろした函谷関。写真上部に見える建造物が、 -ルを誇る城壁と楼閣。歴史上多くの戦いがここで行兄下ろした函谷関。写真上部に見える建造物が、 高



空海の求法行脚はいよいよ積極的に

っていく。

空海は、醴泉寺で北

イ

の般若三蔵と牟尼室利三蔵につい

お われ、大使の責務を果たしたのである。 大使藤原葛野麻呂が皇帝の徳宗に国書 よび貢物を呈上し、 1 月 23 日、

徳宗が4歳で崩御し、28日には順宗が することとなり、2月10日長安を出発。 帝位につく。大使藤原葛野麻呂は帰国 翌年の貞元21年(805) 25日に接見が行

この日、 空海は西明寺に移る。

#### 白馬寺

楽駅に到着。

23

Ę

朝廷から内使

0

趙炎長炎日

洛陽から河南省の

関所

函谷関を通

忠が23頭の馬をひいて迎えにきて、

た。

そして宣え

陽坊にある官邸に落ち着く。 明門から長安城へと入っ

24日には

再建された。善無畏肉身塔(★)。 長年の研究調査により場所が明らかとなり、近年大伽藍が真言密教の相承者・善無畏が葬られたと伝わる洛陽の寺院

近年大伽藍が

化寺

後漢永平11年 (公元68年) 創建の中国最古の仏 教寺院。仏教の中国伝来の説話に基づき、洛陽 郊外に建立。現在、修行大師像が建つ(★)



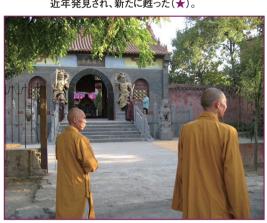
#### 大相国寺

555年創建の開封中心部にある仏教寺院。1992年以後仏 教活動が復活、鐘楼などが再建された。空海が滞在したという 伝説が残る(★)。



#### 大福先寺

真言密教の相承者・善無畏が『大日経』を翻訳した と伝わる寺院。長らくその場所は不明であったが、 近年発見され、新たに甦った(★)。



る。 建立は、 これら と私 典を、 に入り、 なり、 広福寺で入滅、その墓塔奉先寺も最近す根本資料となった。金剛智は洛陽の 翻訳した数多くの『金剛頂経』系の経 日経』を翻訳した大福先寺も明られています。
大伽藍となって甦った。善無畏が 化寺に葬られた。 が建てられた。 て明らかとなり、 まで不明であったが、 く不明であ 金剛智は、 空海は熱心に中国で収集した。 を翻訳した大福先寺も明らかと 地域の人の力で新しく甦った。 の経典が空海の思想をつくり 翌年洛陽に入った。金剛智が の共同研究によるものであ ったが、最近明らかとなり、 開元7年 (719) に長安 石窟名誉所長の温玉成氏。寺院の発掘および碑の 広化寺の場所は長ら 「金剛智三蔵顕彰碑」 現在は発掘され 出



10月14日~19日

## 空海巡礼の旅を実施 の中国人信徒と

17名の中国人の空海信者である。 性7名に途中から1名、 中国人13名が参加した。 は台湾から、香港から、 日本人の参加者は30名である。 中国本土から 通訳を含めて 男性6名、 今回

上海から鄭州空港へ。空港から1時 出発点開封に到

間半ほどバスで走り、



旧友である大相国寺の釋心廣住職と。

着した。「開封玉祥大酒店」 13名と合流した。 で中国

見ることはできない。なんと雙龍・大このような大規模な菊花展は、日本で 並んだ僧侶たちの楽器の演奏が、私た 灯篭・松の木などが、 ち一行を出迎えてくれた。 釋心廣住職が待っておられた。 べてが「菊」で覆われていたのである。 である。門を入ったとき、さらにびっ くられていたのである。そこに旧友の くりして目を見張った。この大寺のす 翌日、 「大相国寺」の門前の両側に いずれも菊でつ 感動の演出

「大師堂」へ案内された。 ており、 堂のなかでは、 菊の道を大雄宝殿まで案内された。 日本側も読経を奉納。つい 中国側の読経が始まった。そ すでに僧侶らが並列し 大師堂では

> 釋心廣住職と懇談した。 を迎えてくれた。そして招待室へ移り、 3メートルほどの修行大師像が私たち

との寺伝があるとの話を聞いた。 たが、彼らから空海が806年に長安 から帰途のとき、この寺に立ち寄った があった。政府の宗教局の案内であ 面千手観音像を収めた「観音堂」だけ た公園であり、 いる。当時ここに寺はなく、 1984年からこの寺にきて ただ銀杏の大木製の四 広々とし 9

ろう。 この菊も順次、 花展の会場の1つになっていた。 菊で 花園に迷い込んだ気持ちがすることだ 満開のときは、 封は、菊でデザインされた町であった。 ループが、明るい声をあげていた。開 課外活動であろうか、 で埋まっていた。広い公園の芝生では、 られた各種の盆栽の大作など、 十三重の鉄塔を模した大作、 中国菊花展覧会」の横幕がかかり、 次に、「鉄塔公園」へ行く。「第十 さながら極楽世界の菊 今から開花していく。 多くの生徒のグ 菊でつく 菊作品 菊

次に、 嵩山にある「少林寺」を参拝。

#### 接待室で懇談ののち、塔林を案内され 寺の僧に迎えられ、 は通過した。 長安への行き帰りに、 空海は少林寺には立ち寄ってない 大雄宝殿で読経、

警官・警備関係など、就職は結構ある ようだ。僧侶になるものは、少ない。 映画スターであるという。卒業後は、 を持ち整列して、 でいる。軍隊式の教育である。長い棒 学校では、200人前後の学生が学ん 法を中心とした学校が十数校ある。各 計画されている。ここには、少林寺拳 現在は少林寺を中心とした町づくりが 有名にするのに貢献したとい ある。少林寺という映画は、 いる。彼らが一番目標としているのは、 していく学生が、広い寺中を闊歩して 少林寺は、現在少林寺拳法で有名で 大きな声を出し行進 少林寺を · われる。

嵩山の少林寺の門前に建つ像(写真左)と、

少林寺武術館(写真上)。

畏三藏が「大日経」を がまえず。 だいにもまう 参拝。この寺は、善無 店に泊まった。 翻訳した寺である。こ 日は、 次に「大福先寺」 洛陽牡丹大酒

### 中国人観光客で盛況 石窟寺院・ 龍門石窟

観光がブームである。おまけに、この 日は60歳以上無料とあって土曜日でも ろう。豊かになってきた中国の人々は、 が始まったのは2000年頃からであ 大変な人出であった。中国で国内観光 日は五節句の1つ「重陽の節句」で、 る石窟寺院・龍門石窟を訪問。 あり大盛況であった。 3 日 目、 洛陽の南方13キロに位置す 10 月 16

> 藏顕彰碑」を建立した。現在、この丘 温先生と私は、ここ芋畑に「善無畏三

したので、金剛峯寺の援助をいただき、

の建立中であった。「奉先寺跡」には、 回訪ねると、さらに講堂・善無畏殿 の上は立派な大伽藍となっている。

門石窟名誉所長温玉成先生と、広化寺・ 先寺跡が金剛智三藏の墓塔であること 奉先寺跡の研究をした。それにより、 約2キロの裏山に位置する。 裏山に「広化寺」、「奉先寺跡」は左へ が明らかになった。 広化寺が善無畏三藏の墓塔であり、奉 龍門石窟に向かって右へ約3キロの 私は、 二十数年前、 「広化寺」 当時の龍

が善無畏三藏の墓塔であることが判明 たくなかった。 は芋畑であり、 丘の上の広々としたこの土地 研究の結果、この場所 広化寺の寺院跡はまっ





龍門石窟の遠景

た。奉先寺は、唐時代は大寺であった 同じく「金剛智三藏顕彰碑」を建立し 洛陽博物館を見学し、洛陽にもう が現在は、何もない。 最後に唐三彩のコレクションで有名な 空海ロードの最終地点 ĺ 洎。

# 洛陽には新幹線で到着

4日目の最初の訪問先・ 白馬寺は中

玉 へ仏教が東漸した最初の寺である。



350キロを出すこともあり、 通により2時間に短縮。新幹線は時速 前は汽車で5時間かかったが、新幹線開 寺僧に迎えられ、 洛陽駅から中国の新幹線で西安へ。 大雄宝殿で読経する。

よって囲まれている。 中国の都市は城郭都市であり、 日本では、

広化寺の門前での記念撮影(写真

左)と、広化寺の本堂(写真下)。

ている。 外側は、 あるという。 城壁の高さは約12メートル、 は、明代に建立(14世紀)在見られる内城を囲む城壁 現代の西安市は、 車もある。 囲の長さは約13・6キロで 幅は約12~14メー く完全に保存されている。 模としては、 されたものである。 の3分の1程度である。現 十分にある。 電気自動車、 中国で現存する規 堀によって囲われ 城壁マラソンも もっとも大き 見学する価値 空海は長 城壁の 貸自転 ル

うな都市構造は見られない。 座席も悪 このよ 城壁に 以 街づくりがなされていることが一目瞭 然である。 を見ると、 64メートル7層の塔の最上階から四方 楽門から長安城に入城したのである。 理を賞味。 た市街が広がっていた。 するために自ら設計した塔である。約 リット経典や仏舎利などの宝物を安置 そして、 「大雁塔」へ登った。玄奘法師がイ から持ち帰った、大量のサンスク 大雁塔を中心として新しい 西安建国大飯店泊 西安市内の特別ギ 10年前は、 古都西安の象徴・大慈恩寺 考えられなか

彐

ザ

者の読経の声が響くなかで、一座行法をに如法衣をつけ礼盤に坐した。参列をに密教の壇が設置されている。私は色に密教の壇が設置されている。その前

9

道も、

敷石工事中である。

青龍寺に到着する。お堂の中正面に、

工事の最中であった。狭かった土の歩

あった。青龍寺は丘の上にあるが、

大

えたのかと思うほどの変わりようで

であった。

一瞬、ガイドが場所を間違

た。思わず「ここどこ?」という感じ の上に立派な欄干のある建造物があ

は入定門が3つ、

つくられている。

9

新しい石の階段と石壁があり、 回、青龍寺にバスが停車、

下車すると



古都西安の象徴である大慈

思いをさせてもらった。

を行った。皆さんのお陰で満ち足り

恩寺の大雁塔。

2400キロ巡礼 達成者4名に成満証授与

満証」を授与した。

次いで、天光軒満月師匠が浪曲「空海」

恵果と空海の出会い

の場面を音

4名いた。行法が終わり、

4名に「成

キロの巡礼が終わった者が

訪問したのは、 前回「青龍寺(恵果空海紀念堂)」 2年前であろうか。 を 今

> 感激のあまり涙をこらえることができ 吐朗々と歌い上げた。多くの参加者は、

2400キロを追体験して、

11

まお大師様に迎えられたのである。

### 礎石だけの寺院を 建した前住職を回想

場もできた。西安興善医院という病院

内し説明してくれた。

四層の密教の道

出迎えてくださり、これらの建築を案

年お世話になった。私が訪問するたび

いつも数時間前から心待ちにして

もつくった。

界明方丈は、高野山にも

数回こられた。西安の美女雑技団を率

は、寺院の礎石だけが空しく転がって るが、大興善寺の前住職・界明方丈が られる。彼は、青龍寺の住職をしてい るだろう。古い友人の寛旭住職に迎え 遂げた。中国全土のなかでも上位に入 が各種建造物の建築によって大変身を 人滅されたあとを受けてこの寺も兼務 ただけで、 そして「大興善寺」に到着。 僧侶もいなかった。それ 25年前

代の天女の踊りをご披露してくれたこ

いて高野山にこられ、

高野山大学で唐

大雄宝殿で界明方丈の頓証菩提を念じ

忘れられない思い出となった。

この寺にも修行大師像が建ってい

中国各所に建立された修行大師像

空海ロード巡礼で訪れた際

界明方丈。

大興善寺での1枚。中央は故

し住職となった。 界明方丈には二十数

野仁弘住職がかかわったお仕事と聞

く。空前の発想

四国愛媛県香積寺

(隻手藥師) 平





寛旭住職と(写真下)。寛旭住職は大興 善寺の住職も務めている。

5 る。 と実行推進に対 深く感謝す

待があり、 を共にした。

> きた。 を感じることは一度もなかった)。 ラーメンを食べに行き、屋台をひやか ら心配する国際電話やメールが入って されていた。参加者たちには、日本か 突事件で、 海上保安庁の巡視船と中国漁船との衝 だく。美味であった。昼食後、ここで したが、旅のあいだ何事もなく、 が起こるという報道が、日本で連日流 (この旅の期間中に沖縄尖閣諸島沖 中国の空海信徒と別れる。お大師様を 事な精進料理に一同目を見張り、 人となり、実に和やかに旅行ができた しかし、 鄭州・西安などで反日デモ 私たちは街中を歩き、 日本人も中国人も友 いた 0)

黄金仏に度肝を抜かれる。ここもまだ **驚異的である。今回は、黄金の鼎と夕** 飲み歌った。 ティーとして、無魔成満を祝し、楽しく 増築中である。参拝ののち、 イ国王から奉納された仏舎利を収めた に移動。夕食は私たちのサヨナラパー 私たち日本人は、 「静安寺」の伽藍の復興は 上海華美達和平大酒店泊。 西安空港から上海

に精進料理の接 寬旭住職 私たち47名 昼食 か から関西空港に帰国した。